

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
麻生建築&デザイン専門学校		平成9年11月26日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 (電話) 0948-25-5999																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
工業	工業専門課程	ものづくり科建築コース (平成30年度「プロダクトデザイン科」より名称変更)				平成25年文部科学省 告示第3号	—																		
学科の目的	日用品、家電、自動車などの製品に関する材料、造形、色彩の知識を習得し、機能的で実用性のあるデザインの計画、構想から具現化までの工程を学習する。また、3次元CAD利用技術者試験の取得を目指しながらハイエンドの3次元CADを体得することによりデジタルエンジニアの分野で活躍できる専門技術者を育成することを目的とする。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	1935時間	915時間	1050時間	-	-	-																		
	単位時間																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																				
80人の内数	23人	1人	1人	8人	9人																				
学期制度	■前期: 4月1日~8月31日 ■後期: 9月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価、3分の2以上の出席が必要																				
長期休み	■夏季: 8月9日~9月2日 ■冬季: 12月21日~1月6日 ■春季: 1月30日~4月3日			卒業・進級条件	単位を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 各種検定対策補講、数学ゼミ(希望者)			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																				
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 自動車メーカー、家具メーカー			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)																				
	■就職指導内容 面接指導、履歴書指導、求人票説明・指導				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元CAD利用技術者</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>カラーデザイン検定</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>イラストレータ能力認定試験</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	3次元CAD利用技術者	③	9人	5人	カラーデザイン検定	③	9人	4人	イラストレータ能力認定試験	③	9人	7人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																				
	3次元CAD利用技術者	③	9人		5人																				
カラーデザイン検定	③	9人	4人																						
イラストレータ能力認定試験	③	9人	7人																						
■卒業生数: 9人			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。																						
■就職希望者数: 8人			①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの																						
■就職者数: 7人			②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの																						
■就職率: 87.5%			③その他(民間検定等)																						
■卒業者に占める就職者の割合: 77.8%			■自由記述欄 御供所灯明コンペティション(毎年参加、入賞有) 本年(第9回)は優秀賞を獲得(2名) うみなか灯りコンテスト(昨年より開始し入賞有) 本年(第2回)は荒天のため中止																						
■その他 ※就職等の実績は、プロダクトデザイン科のもの																									
(平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)																									
中途退学の現状	■中途退学者 1名			■中退率 4.5%																					
	平成29年4月1日時点において、在学者22名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者21名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情 ■中退防止・中退者支援のための取組 ガイダンス カウンセリング 学生・保護者・担任での三者面談																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 ・東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を全額免除する。(卒業まで)																								
	■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 0名																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科のホームページURL	http://www.asojuku.ac.jp/act/subject/product/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。
また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として設置する。委員会では、次の事項を審議し、会議の結果をカリキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任等により主催されるカリキュラム会議では、教育課程編成委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
植田 義孝	ユーデザイン代表	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	③
三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	③
上原 淳司	ダイキエンジニアリング 人事部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	③
合瀬 理栄	国際カラーデザイン協会	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	①
原 将史	麻生建築&デザイン専門学校 副主任	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	
高山 裕明	麻生建築&デザイン専門学校 教員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	
稲吉 貴博	麻生建築&デザイン専門学校 教員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回、開催時期は7月初旬、11月下旬を予定

(開催日時)

平成29年度 第1回 平成29年 6月30日 17:00～18:30
 平成29年度 第2回 平成29年11月24日 15:30～17:00
 平成30年度 第1回 平成30年 6月29日 15:00～17:00
 平成30年度 第2回 平成30年12月 7日 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

3次元CADソフトを設計業界で主に採用されているCATIA最新バージョンへ集約することでCATIAをより深く学ぶことができるのではないかと意見を受け、3次元CADソフトのCREOをCATIA最新バージョンに移行する計画が実施された。H29年度4月に移行が完了し、現在、CATIA I A, I B, II A, II B及び3DCAD I・IIの中で現行バージョンV5とCATIA 3 DEXPERIENCEの教育を行うことで、企業から求められているレベルのCATIA教育を実施している。

また、CATIAとCREO教育がオペレーション主体の教育だったために、より実践的な企画からアウトプットまでの授業展開が必要との意見をいただいた。この意見を受けて、ソフトをCATIAに集約し、1年目にオペレーションを実施し2年目に作品制作やCAM授業などの実践的授業を実施できるようにした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等からのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、将来技術者(建築士など)として活躍するために、学んだ知識やCAD等の技術、コミュニケーション能力等の実務適応能力の確認を行うことを目的として企業等との連携授業を実施する。

現場で活かされる実習を通して、必要な創造力や発想力を養っていく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業等からのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、将来技術者(建築士など)として活躍するために、学んだ知識やCAD等の技術、コミュニケーション能力等の実務適応能力の確認を行うことを目的として企業等との連携授業を実施する。

現場で活かされる実習を通して、必要な創造力や発想力を養っていく。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
プロダクトデザイン 実習Ⅱ A・B	プロダクトデザインの基本的概念を理解する。プロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	ユーデザイン設計

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という)の基本方針

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：九州ドローンコンソーシアム DRONEフライトオペレーター講習(「ドローン測量」関連研修)

連携企業等：九州ドローンコンソーシアム

日程：2017年11月30日(木)～12月1日(金)

内容：UAV概論、法律、安全運行管理、オペレーション(操作実技トレーニング)を学ぶ

「ドローン測量」授業導入のため教員がドローンに関する知識を学び、操作技術向上を目的に参加

対象：教員1名

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「発達障害の理解について」

連携企業等: NPO法人 発達障がい者就労支援 ゆあしっぷ

日程: 2017年4月26日 16:00~17:30

内容: 学生面談・学生指導における基本的知識を習得する。
発達障害とは何かを理解し、学生との関わり方の基本について学ぶ。

対象: 教員1名

研修名:「発達障がい者の対応について」

連携企業等: 児童発達支援センターこだま

日程: 2017年8月21日 16:00~17:30

内容: 入門編の振り返り。質問・事例をもとに対応の仕方について学ぶ。日常の関わり方のちょっとしたコツを学ぶ。
発達障がい者への理解を深め、関わり方のヒントを得る。

対象: 教員1名

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: CATIA Imagine and Shape Essentials研修 CATIA Assembly Design Fundamentals研修

連携企業等: ダツソー・システムズ株式会社

日程: 未定

内容: CATIA 3DEXPERIENCEの技術向上

対象: 教員1名

研修名: 測量ソフトウェア(Pix4Dmapper)研修

連携企業等: 国際航業株式会社

日程: 未定

内容: ドローン測量における3Dデータ生成ソフトウェアの技術向上

対象: 教員1名

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「睡眠障害への理解について」

連携企業等: 有吉祐睡眠クリニック

日程: 2018年5月23日 15:35~17:05

内容: 睡眠障がいに対する理解を深め、学生に効果的なアドバイスや支援ができるように基本的知識を習得する。
睡眠障がいの基礎知識、現代の生活と睡眠、学生と睡眠について理解し、学生への支援と対応について学ぶ。

対象: 教員1名

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果を評価しHP等を通して公表する。

また、学校関係者評価委員会は、本校の関係者として、保護者・卒業生・地域住民・企業関係者・高等学校関係者・教育に関する有識者で構成する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5)学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11)国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

電子メールや電子掲示板を活用した意見交換の場を作ってほしいとの意見に対し、LINEを使った情報交換の場や電子掲示板を使った緊急連絡の場を整備した。

CATIA教育の中でのシミュレーション技術を活用してほしいとの意見に対し、部品単位のモデリングについてはノートPCで作成し、ワークステーションでアセンブリデータを用いた干渉シミュレーション(DMU)を行うようにした。また、今年度より導入の各自の個人PCによる授業への活用法に関して、表現技法をイラストレータで表現し、また、造形表現を3DCADで表現するようにした方が良いという意見を企業様から頂いた。そこで、表現技法をイラストレータで表現することに対して、質感表現・レンダリング等の課題作成を活用することとした。また、造形表現を3DCADで表現することに対して、3D-CAD I Bの自由製作課題において、CATIAでのモデリングを活用することとした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
上野 和則	建築工学科在校生保護者	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日(2年)	保護者
久永 和佳	H29年度 建築工学科卒業生	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日(2年)	卒業生
川藤 勝治	博多区博多駅南第4区自治会 自治会長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	地域住民
高木 秀樹	株式会社 住まいえ 代表取締役	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	企業関係者
横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	企業関係者
高崎 強	株式会社 久米設計 九州支社 副支社長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	企業関係者
戸田 康仁郎	株式会社 大設計 統括本部長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	企業関係者
及川 雅史	株式会社 テクノプロ・コンストラクション 技術課長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	企業関係者
三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	企業関係者
板橋 正志	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部課長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日(2年)	企業関係者
太田 博文	福岡県立 福岡工業高等学校 校長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	高等学校関係者

井上 勝義	クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	有識者
植田 義孝	ユーデザイン設計 代表	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	有識者
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期:平成29年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等との連携及び協力により、実践的な職業教育の質の向上を推進するため、教育活動及び学校運営の状況について情報を提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、ASOの考え、4つのつよみ
(2)各学科等の教育	学科コース一覧、国家資格・検定、就職情報、入学案内
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/act/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ものづくり科建築コース) 平成30年度 ※平成30年から「プロダクトデザイン科」より名称変更)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			CAD	2次元CADの基本的概念を理解すると共に、2次元CAD(AutoCAD)の基本操作を習得し、建築製図の作図技術を習得する。CAD利用技術者試験2級合格を目指す。	1前	90	6		○		○			○		
○			一般教養	一般常識及びSPI対策に取り組む。また、SPI試験にペーパーテスト及びWebテストがあり両方に対応できるよう学習する。	1前	30	2		○			○			○	
○			3DCAD検定対策 A	3DCADを扱う上で必要な基礎知識や周辺機器知識概念の習得を目的としている。また、3次元CAD利用技術者試験2級合格を目指す。	1前	30	2		○			○			○	
○			3DCAD検定対策 B	3DCADを扱う上で必要な基礎知識や周辺機器知識概念の習得を目的としている。また、3次元CAD利用技術者試験2級及び準1級(任意)の合格を目指す。	1後	30	2		○			○			○	
○			ビジネスマナー A	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(立ち居振る舞い・敬語・ビジネス文書)	1前	30	2		○			○			○	
○			ビジネスマナー B	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(交際業務・来客対応・電話対応)	1後	30	2		○			○			○	
○			3DCAD I A	3次元CADソフトウェアの基礎知識及び操作方法の習得を目的とする。	1後	60	4		○			○			○	
○			3DCAD I B	3次元CADソフトウェアの基礎知識及び操作方法の習得を目的とする。	1後	60	4		○			○			○	
○			就職実務 I A	就職活動においての実践的能力を身につける。就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。	1前	30	2		○			○			○	
○			就職実務 I B	就職活動においての実践的能力を身につける。就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。	1後	30	2		○			○			○	
○			Photoshop/ Illustrator I A	アプリケーションの操作方法を身につけ、自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。	1前	30	2		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Photoshop/ Illustrator I B	アプリケーションの操作方法を身につけ、自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。	1 後	30	2	○			○		○		
○			色彩学 A	色彩の基本的知識の習得と、配色知識および、色彩検定3級取得を目標とする。	1 前	30	2	○			○			○	
○			色彩学 B	色彩の基本的知識・配色知識を「色を使える技術」として実際の仕事で役立てるよう身につける。	1 後	30	2	○			○			○	
○			プロダクトデザイン実習 I A	プロダクトデザインの基本的概念を理解するプロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	1 前	60	4	○			○			○	
○			プロダクトデザイン実習 I B	プロダクトデザインの基本的概念を理解するプロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	1 後	60	4	○			○			○	
○			造形A	透視スケッチ技法及によりイメージの具現化ができる。基本的な立体形状を正確に造形する技術を身につける。	1 前	60	4	○			○			○	
○			造形B	透視スケッチ技法及によりイメージの具現化ができる。基本的な立体形状を正確に造形する技術を身につける。	1 後	60	4	○			○			○	
○			デザイン概論	デザインという概念、デザイン関連職の種類と内容、デザインが社会にもたらす価値、デザイナーに必要な能力と知識等を学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
○			機械製図	製図総則(JIS Z 8310-1984)及び機械製図の諸規格について十分理解する。	1 前	30	2	○			○			○	
○			図学	建築におけるパースの役割を理解し、図法を学習し表現する。	1 後	30	2	○			○			○	
○			CATIA I A	企業との提携により作成しているCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習する。	1 前	60	4	○			○			○	
○			CATIA I B	企業との提携により作成しているCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習する。	1 前	60	4	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			GCB I	グローバルシティズンの育成をめざし、感謝心と思いやりをもった人材を養成する。	1 前	15	1	○			○	○			
○			GCB II	グローバルシティズンの育成をめざし、ビジョンと志をもった人材を養成する。	1 後	15	1	○			○	○			
		○	数学ゼミ A (選択)	専門教科に必要とする力学を理解できるように四則演算及び分数計算・小数の計算を振り返りを行う。	1 前	15	1	○			○			○	
		○	数学ゼミ B (選択)	専門教科に必要とする力学を理解できるようにSI単位の理解を行い、単位の計算ができるよう学習する。	1 後	15	1	○			○			○	
○			就職実務 II A	就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。社会人としての意識マナーをしっかりと見につける。	2 前	30	2	○			○		○		
○			就職実務 II B	就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。社会人としての意識マナーをしっかりと見につける。	2 後	30	2	○			○		○		
○			CATIA II A	企業提携によるCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について学習し、CATIA技術者認定資格を目標とする。	2 前	30	2	○			○		○		
○			CATIA II B	企業提携によるCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習し、CATIA技術者認定資格を目標とする。	2 後	30	2	○			○		○		
○			卒業制作A	卒業制作のためのデザインプロセスを学習しパネル制作及びモデル制作を行う。	2 前	60	4	○			○		○		
○			卒業制作B	卒業制作のためのデザインプロセスを学習しパネル制作及びモデル制作を行う。	2 後	90	6	○			○		○		
○			建築計画A	建築計画とは何かを説明できる。既存の建築計画を調査・研究している。これからの社会情勢に応じた建築計画を模索する意志を要する。	2 前	30	2	○			○		○		
○			建築計画B	建築計画とは何かを説明できる。既存の建築計画を調査・研究している。これからの社会情勢に応じた建築計画を模索する意志を要する。	2 後	30	2	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ドローン測量A	ドローン測量の知識と技術を身につける。ドローンを安全に飛行させるための知識と操縦技術、ドローン空撮により取得したデータの後処理方法を学ぶ。	2 前	30	2	○	△		○	○			
○			ドローン測量B	ドローン測量の知識と技術を身につける。ドローンを安全に飛行させるための知識と操縦技術、ドローン空撮により取得したデータの後処理方法を学ぶ。	2 後	30	2	○	△		○	○			
○			環境工学	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、光、空気、音の分野について学習し、知識の習得を行う。	2 前	30	2	○			○	○			
○			建築施工	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築物を施工するために必要である、各工種別の施工と全体の施工計画について概要を理解する。	2 前	30	2	○			○	○			
○			一般構造	木造建築の構造を理解し、必要な部材名及びその役割を理解し基礎知識を身につける。鉄筋コンクリート構造の基本的な構造を理解し、その構造形式の特徴について学ぶ。鉄筋構造の構造形式などの特徴や部材の設計方法について学ぶ。	2 前	30	2	○			○	○			
○			構造力学	構造力学の基礎部分について指導し、構造力学に関する基本的な知識を理解する。また1級2級建築士などの各資格取得に必要な力を身につける。	2 後	30	2	○			○	○			
○			建築設備	建築に関する基礎的で包括的な専門知識として、建築環境、設備分野での技術者として必要な設備計画に関する基礎知識を習得する。	2 後	30	2	○			○	○			
○			建築材料	建築に使用する材料の特性を学び、適切な材料を選択できるようになる。建築材料のうち、構造材料である木、コンクリート、金属(鋼材)の性質について学ぶ。	2 後	30	2	○			○	○			
○			建築製図A	設計製図の基本の習得する(線・文字の基本的な描き方と建具等の表示記号の理解)木造建物、鉄筋コンクリート造の製図法を習得する。	2 前	90	6	○			○	○			
○			建築製図B	主に建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	2 後	60	4	○			○	○			
○			プロダクトデザイン実習ⅡA	プロダクトデザインの一貫した過程を一つの作品にまとめる。卒業制作と連携し、個人別の課題に取り組む。	2 前	90	6			○	○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			プロダクトデザイン実習ⅡB	プロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。プロダクトデザイナーに必要な技術、人間性を身につける。(納期、期限)	2後	90	6		○		○			○	○	
○			建築法規	基本となる建築基準法を中心に学習し、建築物の設計等を行う際の最低限の基準を学ぶ。	2前	30	2	○			○			○		
合計															46科目	1935時間 (129単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
①最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目（実習を含む）に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 ②出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 ③国土交通省が定めた規定の時間を満たした者 ④学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	